

令和4年度 西都市立穂北中学校 学校評価

- 「評価」について、目標の達成度に基づき、次の4段階で評価を行う。
 4:とてもそう思う、 3:そう思う、 2:あまりそう思わない、 1:そう思わない
 ○「評価者」…「第一次」:学校による自己評価、「第二次」:保護者評価、「第三次」:学校評議委員評価

評価項目	達成目標と方策		第一次評価者所見		評価		
					第一次	第二次	第三次
徳 ふるさとへの協働の向上に誇りやける	ア	道徳教育や人権教育の充実に努め、郷土愛や思いやりを育む	ピアサポート推進校の指定を受け本年度で2年目である。全校生徒を対象にピアサポート活動を実施している。次年度も計画的に活動を推進していく。		3.3	3.1	3.3
	イ	一人一人に寄り添う支援や教育相談の充実に努め、自尊感情を高める	学期1回教育相談週間を設定し、生徒の心の声に寄り添うとともにまた、悩みや課題のある生徒への個別支援にも努めた。次年度も生徒の声に耳を傾けるよう努めたい。		3.2	2.8	3.1
	ウ	チャンスの創案と生徒への支援により、挑戦・実践していこうとする態度を育む	「さいと学」の学びの成果をアウトプットする機会として「さいと学アワード」を西都市内の全中学3年生を対象として実施することになり、本校の3年生もファイナルステージに進出するなど活躍した。また、1年生では2月の「キャリアみらいゼミ」、2年生では「職場体験学習」の中身を見直すことで将来の生き方に対する考えを広げることができた。		3.4	2.9	3.6
知 将来の学びに自己実現に向けた向上	エ	学びに向かう姿勢や進路実現への意欲向上など、学力の基盤となる教育に努める	総合的な学習の時間等において将来の自己実現について考える学習活動を展開。特に3年生では県立妻高校から校長先生と生徒を招いた進路学習特別講座を実施。今後も継続した取組を実施する。		3.4	2.8	3.1
	オ	生徒の実態に応じ、学習の前と後での成長を実感できる教育に努める	定期テストの対策プリントを生徒自身がタブレットで自作するなどして、学習への意欲喚起や自己達成感を味わわせることができた。次年度も継続して取り組んでいく。		3.0	2.7	3.1
	カ	思考力や表現力など、知識や技能を活用する学習活動の実施に努める	学習発表会や「さいと学アワード」において、それぞれの学年が「さいと学」の時間で学んだ学習内容をタブレットでプレゼンテーションを作成し発表した。次年度も表現力の育成に努めたい。		3.1	3.0	3.4
	キ	ICTを活用した学習活動の工夫・充実に努める	ICT機器の研修や研究授業を行い、全職員がタブレット等のICT機器の活用について工夫を重ねている。またICT支援員の有効活用にも努め、タブレットの持ち帰りにもいち早く対応できた。今後も実践事例等の共有化を進め、さらなる工夫・充実に努めたい。		3.1	3.1	3.4
体 心身の健康と向上	ク	心身の健康や体力向上をめざし、授業や行事、部活動などの充実に努める	中体連の県大会に女子ソフトテニス部、バドミントン、水泳、空手道が出場した。次年度も部活動の充実と体力向上プランの目標達成に努めたい。		3.3	3.0	3.3
	ケ	通信や啓発教育等によって家庭と連携し、健康安全教育や食育への意識を高める	学校保健委員会での講演や学校栄養士による食育講話などによる健康への意識啓発や、保健室から毎月「保健便り」を発行し健康や食育についての情報発信に努めている。今後も内容の充実に努める。		3.4	2.9	3.0
家庭や地域との協働	コ	協働によるキャリア教育の拡充に努め、郷土愛や自己実現への意欲向上を目指す	全校生徒が「西都市PRポスター」をタブレットで作成し、郷土の良さをキャッチコピーに表した。本校の取組が西都市内の他の中学校にも広がり「ふるさとsight展」でも好評を得た。		3.4	2.9	3.6
	サ	通信やHPを活用した情報発信に努め、教育方針や教育内容の共有化を図る	HPを定期的に更新し、生徒の学習活動の様子を発信することでアクセス数も伸びている。また、穂北中学校だよりを毎月発行し、地域の各家庭にもお届けし教育内容の理解が深まるように努めている。今後も継続していく。		3.4	3.2	3.4

【ご意見】

- ・部活動だけでなくフリースタッフの活動など文化面の活動も素晴らしいと思います。
- ・令和8年度の中学校統合に向けて穂北中学校での取組も4年となりますが、知・徳・体の向上は最重要課題です。本日「好きだからここを離れられないんだ」という言葉を見つけました。中学校が統合されたとしても生まれ育った穂北という地に誇りと郷土愛を育む教育を令和5年度以降もお願いします。
- ・生徒たちの態度は短い時間の観察なので評価が十分だとは分かりません。しかし、この一年間の取組を新聞紙上や学校外で見せていただくと成長を感じます。また、自己主張や発表がよくできるようになったと思います。
- ・全体的に項目に対して努力されている。
- ・さいと学で市内の中学生の活動を見たり、先輩方等のお話も聞けたりして穂北中の生徒は学校外の刺激を受けることができていると思います。後は学力。日々の活動で自宅での学習を1～2時間でもできるように、保護者への対応も必要なのではないかと思います。学校へ行って授業を受け、分からないことは生徒にとって苦しい時間だと思うからです。本を深く読んだり、学力の定着化に向けてはどうか。中学生の若い柔らかい脳、大いに刺激し活性化してほしい。